

入札における予定価格及び最低制限価格の算出方法について

1. 予定価格の算出方法について

決裁権者が設定した予定基本価格に、入札会場で決定したランダム係数を乗じて予定価格を決定します。

(1) ランダム係数

入札会場でパソコンを用いて、0.997～1の範囲で決定します。
(小数点第8位まで)

(2) 予定価格

予定基本価格×ランダム係数＝予定価格
(千円未満切り捨て)

2. 最低制限価格の算出方法について (※変更あり。)

最低制限基本価格に、入札会場で決定したランダム係数を乗じて最低制限価格を決定します。

(1) 最低制限基本価格

$$\begin{array}{l} \text{直接工事費} \times 0.97 \\ + \\ \text{共通仮設費} \times 0.9 \\ + \\ \text{現場管理費} \times 0.9 \\ + \\ \text{一般管理費} \times 0.68 \end{array} \left. \vphantom{\begin{array}{l} \text{直接工事費} \times 0.97 \\ + \\ \text{共通仮設費} \times 0.9 \\ + \\ \text{現場管理費} \times 0.9 \\ + \\ \text{一般管理費} \times 0.68 \end{array}} \right\} = \text{最低制限基本価格} \\ \text{(千円未満切り捨て)}$$

(2) ランダム係数

入札会場でパソコンを用いて、0.990～1の範囲で決定します。
(小数点第8位まで)

(3) 最低制限価格

最低制限基本価格×ランダム係数＝最低制限価格
(千円未満切り捨て)

※ただし、最低制限価格の上限額を予定価格の0.92(千円未満切り捨て)とし、下限額を予定価格の0.75(千円未満切り上げ)とします。